

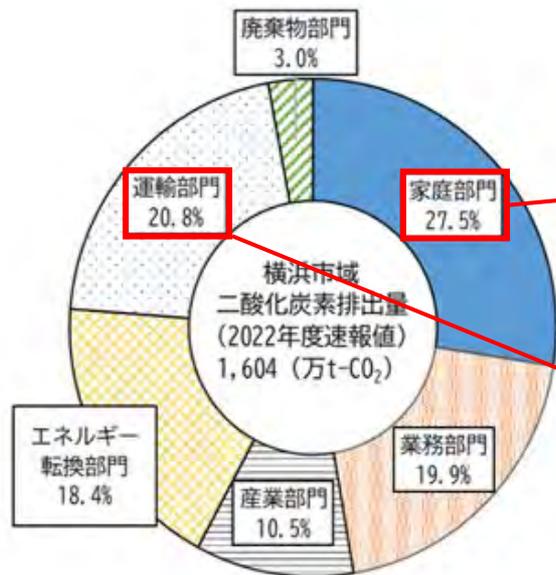
脱炭素化に向けた 行動変容・イノベーションの取組状況について



項目

- 1 エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の
実施状況について
- 2 急速充電設備の設置拡大に向けた取組について

脱炭素化に向けた行動変容・イノベーション



1. エコハマの実施状況について

2. 急速充電設備の設置拡大に向けた取組について

<横浜市の部門別CO2排出量>



項目

- 1 エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の
実施状況について
- 2 急速充電設備の設置拡大に向けた取組について



1 事業目的

昨年度に引き続き、国の交付金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）を活用し、家電製品のうち電力消費量が多いエアコン、冷蔵庫、照明器具について、省エネ性能の高い製品の購入を支援し、CO₂排出量の削減、脱炭素ライフスタイルへの転換へのきっかけづくり、さらには家計負担の軽減につなげていくことを目的として実施しました。

昨年度の実施結果を踏まえ、第2弾においては、より多くの市民の皆様にご利用いただけるよう、夏のエアコン需要にも対応するため、開始時期を前倒して実施しました。



エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の実施状況について

2 実績

(1) 実施時期

令和6年6月6日（木）～11月5日（火）（153日間）

(2) 還元額

約13億6,000万円（還元予定上限額14億円）

(3) 申請件数

約6.3万件 <内訳>

電子申請	約5.4万件（85.7%）
郵送申請	約0.9万件（14.3%）

(4) 申請製品数

約6.8万台 <内訳>

エアコン	約2.4万台（35.3%）
冷蔵庫（冷凍庫含む）	約2.8万台（41.2%）
LED照明器具	約1.6万台（23.5%）



エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の実施状況について

2 実績

（5）CO₂削減量

約4,000トン※ハマウイング4.5基分の年間発電量に相当

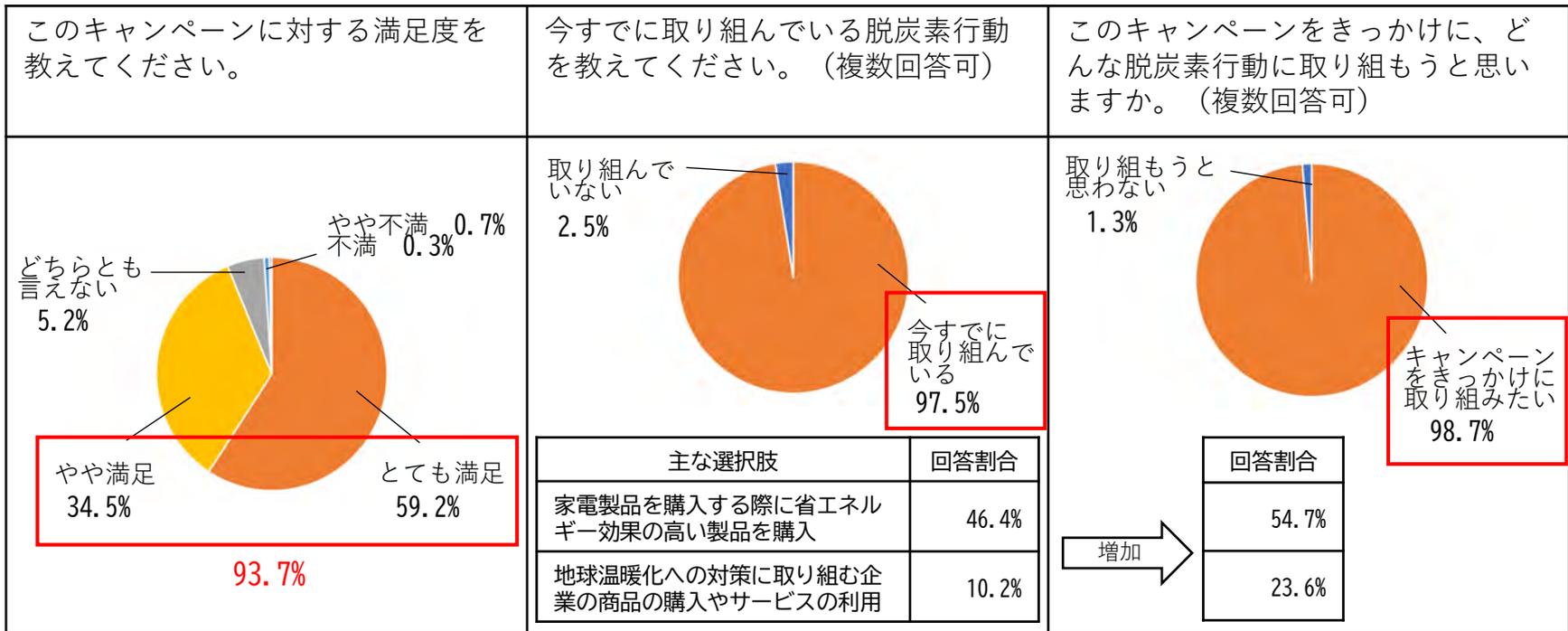
（6）登録店舗数・販売額

店舗種別	店舗数	販売額
家電量販店	60店舗（14.0%）	88億2,122万円（94.2%）
街の電器店	207店舗（48.1%）	4億7,051万円（5.0%）
その他（ホームセンター等）	163店舗（37.9%）	7,073万円（0.8%）
合計	430店舗	93億6,246万円

エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の実施状況について

3 アンケート結果

(1) 利用者アンケート（回答数 n = 63, 657）※主な設問を抜粋





3 アンケート結果

(1) 利用者アンケート（回答数n = 63, 657）※主な設問を抜粋

このキャンペーンに対するご意見がありましたらご自由にご記入ください。

<概要>

キャンペーンを評価する声をいただいた一方で、申請手続きの簡素化等、改善を期待するご意見も寄せられました。

<キャンペーンを評価いただくご意見>

- ・このキャンペーンを知り、より省エネ効果の高い製品を選んだ。
- ・長年使っていた家電を、節電のために買い替えるきっかけになった。

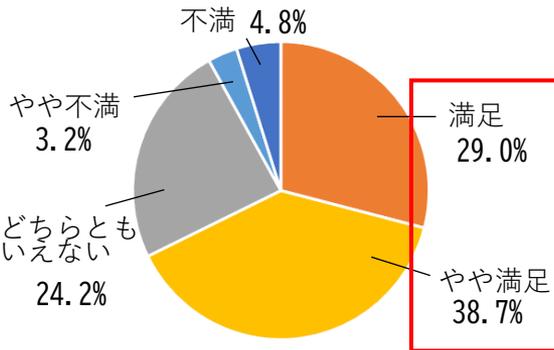
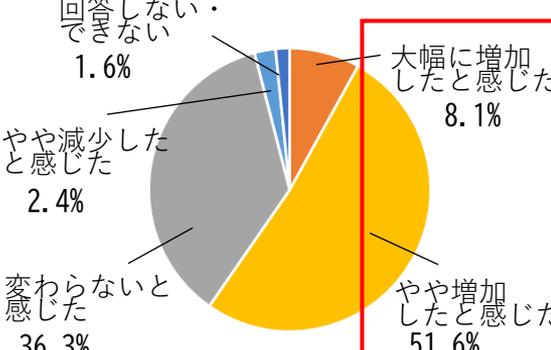
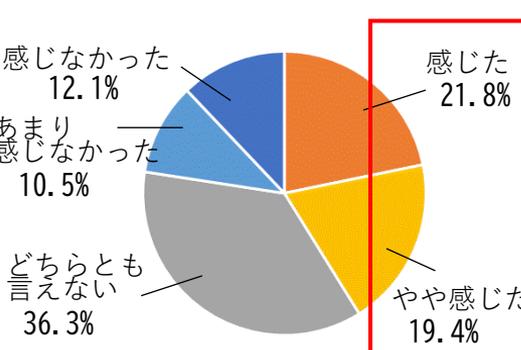
<改善を期待するご意見>

- ・申請が簡単にできるよう工夫してほしい。
- ・申請可能台数や還元額の上限を引き上げてほしい。

エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の実施状況について

3 アンケート結果

(2) 登録店舗アンケート（回答数 n = 124）※主な設問を抜粋

<p>エコハマに対する満足度を教えてください。</p>	<p>エコハマにより、対象家電の売り上げに影響があったと感じましたか。</p>	<p>エコハマにより、省エネ性能の高い製品を選んだお客様が増えたと感じますか？</p>
 <p>満足 29.0%</p> <p>やや満足 38.7%</p> <p>どちらともいえない 24.2%</p> <p>やや不満 3.2%</p> <p>不満 4.8%</p> <p>67.7%</p>	 <p>大幅に増加したと感じた 8.1%</p> <p>やや増加したと感じた 51.6%</p> <p>変わらないと感じた 36.3%</p> <p>やや減少したと感じた 2.4%</p> <p>回答しない・できない 1.6%</p> <p>感ぜなかつた 12.1%</p> <p>59.7%</p>	 <p>感ぜた 21.8%</p> <p>やや感ぜた 19.4%</p> <p>どちらともいえない 36.3%</p> <p>感ぜなかつた 12.1%</p> <p>41.2%</p>



エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の実施状況について

3 アンケート結果

（2）登録店舗アンケート（回答数n=124）※主な設問を抜粋

エコハマに関するご意見等をお聞かせください。

<概要>

利用者アンケートと同様に、キャンペーンを評価いただく声とともに、申請手続きの簡素化等に対するご意見等が寄せられました。

<キャンペーンを評価いただくご意見>

- ・お客様の満足度が高かったように思う。
- ・時期もちょうどよく、早期終了となり好評だったと思う。
- ・このようなキャンペーンがあると、古い家電を入れ替えるきっかけになると感じた。

<改善を期待するご意見>

- ・申請から還元まで、もっと簡単な方法でできるようにしてほしい。
- ・エアコンの対象機種を広げてほしい。



エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の実施状況について

4 分析・評価

- ・開始時期を前倒したことにより、昨年度に比べ、エアコンの申請割合が大幅に増加。
- ・本キャンペーンの実施により、2か年で計8,000トンのCO₂排出量の削減が進むとともに、利用者アンケートでは、本キャンペーンの満足度が90%を超え、98%以上の方が「このキャンペーンをきっかけに脱炭素行動に取り組みたい」と回答いただいております、**脱炭素ライフスタイルへの転換へのきっかけづくりにつながっている**と思われる。
- ・昨年度に比べ、「街の電器店」での販売額が4割程度増加し、**地域経済への波及効果も**みられる。
- ・今後このようなキャンペーンを実施する場合には、申請手続きの簡素化などを工夫していく必要がある。



項 目

- 1 エコハマ（横浜市エコ家電応援キャンペーン第2弾）の
実施状況について
- 2 **急速充電設備の設置拡大に向けた取組について**

急速充電設備の設置拡大に向けた取組について

1 事業概要

電気自動車（EV）の普及には充電器の設置拡大が必要不可欠です。

本市では、2030年までに市内への急速充電設備400口の設置を目指し、国の補助制度なども活用しつつ、民間事業者と連携しながら急速充電設備の設置拡大を進めています。（現在、約300口設置済み）

- （1）公道等（道路用地などの市有地含む）を活用し、これまでに設置した3か所（6口）に加え、6年度は1か所（2口）設置しました。
- （2）6年度からは新たに、民間施設への急速充電設備設置を実施しています。設置箇所は7か所（11口）になる見込みです。

急速充電設備の設置拡大に向けた取組について

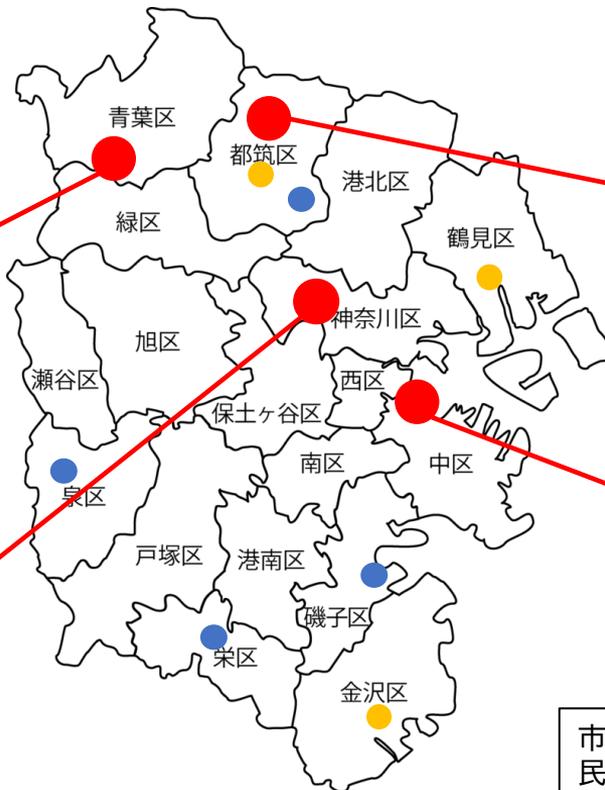
2 (1) 公道等（道路用地などの市有地含む）を活用した取組

● 公道等充電（稼働中：4か所） ● 公道等充電（道路管理者等と調整中：4か所） ● 公共施設充電（区役所等と調整中：3か所）

令和3年度：青葉区しらとり台 （全国初）



令和6年度：神奈川区片倉町（路外）



令和4年度：都筑区センター南駅前広場



令和5年度：中区新港中央広場前



市が場所の選定や事業者を公募・決定し、民間事業者が充電器の設置・運営を行います。

急速充電設備の設置拡大に向けた取組について

2 (2) 民間施設への急速充電設備設置

国や県で実施している補助に加え、横浜市でも6年度より、横浜市内に所在するコンビニエンスストアに設置されている来客用の駐車場に急速充電設備を設置した民間事業者に対し、導入に要する経費の一部を補助する事業を行っています。

補助単価（上限額）	1基あたり30万円 （再エネ電気で供給した場合は 1基あたり40万円）
補助箇所数（口数） 見込	7か所（計11口）

● 申請見込（7か所:11口）

